

凡事徹底～当たり前が当たり前でできる子に～ そして、本物はつづく つづけると本物になる

23年度 伊賀良小 校長室だより

No. 1 1

# いがらの子

飯田市立伊賀良小学校

学校長 芦部 公一

平成23年10月24日(月)

## 一人一人が輝いた運動会 大成功！

☆好天に恵まれ、10月8日(土)に、伊賀良小学校運動会を執り行うことができました。当日は多くのご来賓の皆様にご光彩を添えていただき、また、会場いっぱいの保護者、地域の皆様の温かい大声援を受けて、子どもたちも元気良く伸び伸びと競技、演技をすることができました。心より御礼を申し上げます。

### 閉会式学校長挨拶より

◆皆さん、今日一日、本当に素晴らしい運動会を見せてくれてありがとう。一日の競技を終えて、こうして皆さんの顔を見ると、一つの大きなことをやり遂げたというように本当に輝いています。校長先生は皆さんの姿を見ていて涙が出て仕方ありませんでした。

競技には勝ち負けがあります。一位になる人もいれば最後になる人もいます。でも、力いっぱい競技する姿に勝ち負けは関係がありません。今日の運動会は、1012名の皆さん一人ひとりが主人公となり、心を一つにして最後まで本当によく頑張りました。

◆1年生のダンスを交えた玉入れ、2年生のマルマル・モリモリのダンス、3年生の竹ひき、4年生のはねこおどり、5年生の騎馬帽子とり、そして小学校最後の運動会6年生の組体操、どれもこれも、それぞれの学年の良さを生かして、かわいらしく、力強く、華やかに、躍動感あふれる素晴らしい演技、競技でした。今でも心に残っています。男女紅白リレー、かけっこ、大玉送り、綱引き等、数え上げればきりが無いほど、皆さんが真剣に頑張る姿、全力で頑張る姿がありました。応援団を中心にして応援する姿、係活動できびきび動く5、6年生の姿も本当にさわやかでした。

◆頑張った友達に、頑張った自分に、そして最後まで応援してくださったお家の方や地域の方に感謝の気持ちを込めて、みんなで大きな拍手を送りましょう。

◆伊賀良小学校運動会にご光彩を添えてくださいましたご来賓の皆様、最後まで温かな声援を子どもたちに送っていただきました保護者、地域の皆様方、早朝より運動会運営にご尽力いただきましたPTA役員の皆様等々、ご協力いただきましたすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



学校ホームページより

# “ひとのやさしさ”について考えよう

◆11月は人権教育月間です。子どもたちには「なかよし月間」として位置付け、さまざまな人権にかかわる学習を行うこととなります。14日の校長講話ではそれを踏まえ私の大好きな絵本の一つである「花さき山」(斉藤隆介:作 岩崎書店)を読み聞かせ、子どもたちに「やさしさ」について考えてもらいました。子どもたちには自分の行為を振り返って考えて欲しいと思っています。

◆皆さん。花さき山のお話に出てくる人たちが持っている「心」ってどんな「心」かな。どんな気持ちの「心」だと思いますか。(子どもたちにたずねる)

やさしいことを ひとつすると  
ひとつ さく。  
つらいのをしんぼうして、  
じぶんのことより ひとのことを おもって  
なみだを いっぱい ためて しんぼうすると、  
そのやさしさと、けなげさが、  
こうして 花になって、さきだすのだ。



皆さん。花さき山はどこにあると思いますか。

ちょっと考えてみてください。(子どもたちの反応を見る) 声を拾う

校長先生は、自分の心の中にあるんだと思います。皆さん一人ひとりの心の中にあるんですよ。

実は、皆さんはもう、たくさん花を咲かせているんです。

どんな時に花が咲いたか、振り返ってみてください。

また、どうすれば花が咲くのか。一人ひとりが考えてみてください。

そして、これからもたくさんの花を、心の中の花さき山に咲かせてほしいと思います。

## 今が土台をつくる時

### 来入児保護者会校長講話

◆10月19日に来入児検査と保護者会を行いました。

校長講話では次のようなことをお願いしました。

○**早寝早起き朝ごはん** 朝食抜きは、集中力、持久力に大きな影響あり。テストの平均点10点低い。

基本的な生活習慣を確立して、夜型の子どもから朝型の子どもへの転換を図ることが大事。「早起きは三文の徳」「寝る子は育つ」の言葉通り。

○**一番のお友達がテレビではだめ** 外での群れ遊び、集団遊びのすすめ。ゲーム脳では困る。人間関係の構築。相手を思いやる心を育てることができない。テレビやゲームが一番の友達では悲しい。

○**ケータイは携帯しない** 小学生にケータイは不必要

○**親の背中が子どもを育てる** 子どもは親の言う通りには育たない、親のする通りに育つ。親の背中を見て育つ子。親が背中生き方を示すことが大事。真の優しさは、むやみに物を買って与えることではない。

○**三つ子の魂百まで 5:3:2のバランスを大事に** この時期に大事な規範意識を育てたい。間違った行為はしっかりと教え、良い行為は認める。子どもの心や体を傷つけるのはしつけではない。ただの虐待だ！

「可愛くば、五つ教えて三つほめ、二つしかって良き人となせ」(二宮尊徳)

○**同じ子どもは、一人もいない** 比較しての子育ては、子どもを伸ばすことができない。子どもは自信をなくす。

○**特別支援教育について** 心配なことは早めに相談を そのことが子どもの「困り感」の改善につながる。

○**今が土台を作る時** この時期が、人間としての土台をつくる時。土台がしっかりしていなければ、その上には何も積み重ねることはできない。まさに「根を養えば、樹はおのずから育つ」。

○**通学路の確認を** 子どもの目線で通学路を点検して。安全な登下校に必要なことを教えてあげて。